Q&A 一般質問 市政のそこが聞きたい！

加藤一生 議員（白和）

市内のスクールゾーンの設置状況は

▲録画配信
（2月26日一般質問）

答弁…地元の意向を踏まえ指定を要望していく

問　市内のスクールゾーンの設置状況はどうなっているか。南小学校等の地域に、今後追加する動きはあるか。

答　スクールゾーンについては、菁莪小学校区に1か所、篠津小学校区に2か所の計3か所設置している。現在、追加の予定はない。

　指定は、対象沿線及び迂回路沿線の居住者の同意が必要であり、要望を受けた際は、久喜警察署を通じ、埼玉県公安委員会に要望する。

市内に設置されているスクールゾーン

人材 市職員の人材確保は

答弁…さまざまな取組で人材を確保していく

問　現在、「公務員離れ」の傾向が顕在化している。この状況下で、市はどう人材を確保しようとしているのか。また、大学生に対するインターンシップの募集を行う考えはあるか。

答　職員採用試験の受験者数は減少傾向にあり、人材確保は重要な課題である。採用活動や試験方法を工夫し、人材確保に向けた取組を進めている。インターンシップは人材確保の有効な手段となり得るため、職員体制を整えたうえで導入に向けた検討を進めていく。

野々口眞由美 議員（TSUNAGU）

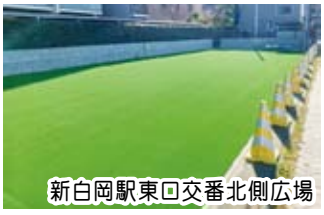
新白岡スーパーシティプロジェクトとは

▲録画配信
（2月26日一般質問）

答弁…新白岡の「まちの価値」向上を図る取組

問　住民主体のまちづくりで新たな価値を生むエリアマネジメントを含む、新白岡スーパーシティプロジェクト。将来にわたり持続可能で魅力ある新白岡のまちづくりの計画とは何か。また、情報格差を解消し、スムーズな事業推進のため、住民への説明が必要では。

答　エリアマネジメント等の先進的な制度やＩＣＴ等の先端技術の導入により、「まちの価値」を向上させ、持続可能なまちづくりを行う取組。県の補助金を活用し、さまざまな主体が連携して各種取組を推進している。情報発信と住民への丁寧な説明に努める。


新白岡駅東口交番北側広場

農業 今後の市の農業政策は

答弁…農地の集積・集約化を推進していく

問　農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、地域が抱える「人と農地の問題」を解決する未来の設計図と目標地図である地域計画は、今後の農業政策において重要な計画である。また、農業委員の役割も大きい。今後、市の農業はどうなるのか。

答　市では農業委員、担い手、地権者等と協議を図りながら、6年度中に3つの地域で地域計画を策定する。今後は、担い手への農地の集積・集約化を推進していくとともに、農地の区画拡大やスマート農業の導入など農業生産の合理化を支援していく。